

分析化学 I - 2 2025 年度 試験問題
(50 点満点)

計算問題での注意事項 :

- ・有効数字を考慮し、計算過程も示すこと（体積の有効数字は 3 桁以上と考えて良い）。答えに単位がある場合は、単位を付すこと。
- ・平衡定数はモル濃度による濃度平衡定数であり、イオン強度の影響は無視できるものとする。
- ・温度はすべて 25 ℃とする [このとき、 $(RT/F) \ln x = 0.0591 \log x$ (V) である]。

0.010 C

問 1 1.0×10^{-3} mol の NaCl を含む水溶液に 1.0×10^{-3} mol の K_2CrO_4 を指示薬として加え、
0.010 mol/L AgNO_3 水溶液で滴定した。滴定の終点 (Ag_2CrO_4 が沈殿し始めるとき) における溶液の体積は 100 mL であった。次の問い合わせ (1)・(2) に答えよ (各 5 点、計 10 点)。

- 終点における $[\text{Cl}^-]$ を求めよ。ただし、 AgCl および Ag_2CrO_4 の溶解度積をそれぞれ 1.8×10^{-10} , 9.0×10^{-12} とする。
- (1) のとき、滴定誤差は何%か。

✓問 2 水素イオン濃度が 1.0×10^{-10} mol/L の条件で、EDTA (H_4Y) 水溶液によって Mg^{2+} 水溶液のキレート滴定を行う場合、金属指示薬としてエリオクロムブラック T (NaH_2In) が適当であることを説明せよ。なお、当量点での Mg^{2+} 全濃度を 1.0×10^{-2} mol/L とし、下の条件生成定数 K' を用いよ (10 点)。

表 $[\text{H}^+] = 1.0 \times 10^{-10}$ mol/L での MgY^{2-} 錯体 と MgIn^- 錯体 の条件生成定数 K'

$K'(\text{MgY}^{2-})$	$K'(\text{MgIn}^-)$
1.8×10^8	2.5×10^5

問 3 硫酸酸性条件において Sn^{2+} 水溶液を MnO_4^- 水溶液で酸化還元滴定するときの反応は、
 $2 \text{MnO}_4^- + 5\text{Sn}^{2+} + 16\text{H}^+ \rightleftharpoons 2\text{Mn}^{2+} + 5\text{Sn}^{4+} + 8\text{H}_2\text{O}$ である。水素イオン濃度が 1.00 mol/L のときの平衡定数の常用対数値 ($\log K$) および当量点での電位 (E_{eq}) はいくらか。それぞれ解答欄 a, b に答えよ。ただし、 $\text{MnO}_4^- + 8\text{H}^+ + 5\text{e}^- \rightleftharpoons \text{Mn}^{2+} + 4\text{H}_2\text{O}$ および $\text{Sn}^{4+} + 2\text{e}^- \rightleftharpoons \text{Sn}^{2+}$ の標準電極電位はそれぞれ +1.51 V および +0.15 V である (10 点)。

問 4 表面を塩化銀で被覆した銀線を 0.010 mol L⁻¹ 塩化カリウム水溶液に浸し、半電池を組み立てた。これについて、次の問い合わせ (1)・(2) に答えよ (各 5 点、計 10 点)。

- 解答欄 a に電池図を、解答欄 b に半電池反応式をそれぞれ記せ。
- この半電池の電極電位を求めよ。なお、標準電極電位を +0.222 V とする。

○ 問 5 溶媒抽出に関する次の問い合わせ (1)・(2) に答えよ (各 5 点、計 10 点)。

- 水相の体積に対して有機相の体積が 1/10 の条件下で物質の抽出を行うとき、分配比 1.0 に対応する抽出率 (%) の値はいくらか。
- 0.10 mol/L の無電荷の物質 A が溶けている 100 mL の水溶液に対して、100 mL のヘキサンによる抽出を二度行った。このとき、水相の物質 A の濃度は何 mol/L になるか。ただし、物質 A のヘキサン/水間分配定数は 1.0×10 であり、各相中で化学変化を起こさないものとする。また、各抽出時に分配平衡が成立しているとする。